

「米菓」の輸出について

平成26年の神戸港

金額 4年ぶり第1位、平成5年以来21年ぶりの10億円超
 数量 12年連続第1位



神戸税関

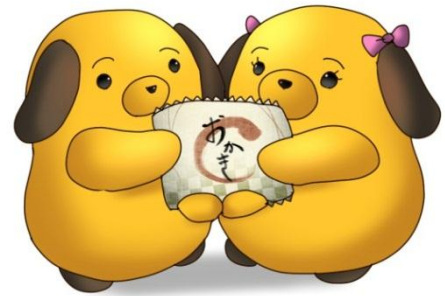
私のまちの NATIONAL GATE

“あられ”と“せんべい”の違いをご存じでしょうか？
 これらの米菓は、原料に使用されるお米の種類によって大きく区別されます。
 まず、お米は「もち米」と「うるち米」に大別されますが、もち米から作られるのが“あられ”で、私たちが普段食べているうるち米（白米）から作られるのが“せんべい”となります（4ページ目参考）。

“あられ”は、寒い夜に降る霰（あられ）に形が似ているので、その名が付けられたそうです。お正月や節句に飾るお餅を乾燥させ、砕いて（欠いて）作ったことから“おかき”とも呼ばれていましたが、現在は主に大きさで区別され、小型のものを“あられ”、大型のものを“おかき”と呼びます。

おやつや保存食として日本の豊かな食生活を支えてきた米菓は、海外にも輸出され、「低カロリーで美味しい」と多くの国々で食べられています。

今回は、「Japanese rice crackers」として世界中に愛されている日本の伝統的お菓子「米菓」の輸出について取り上げました。

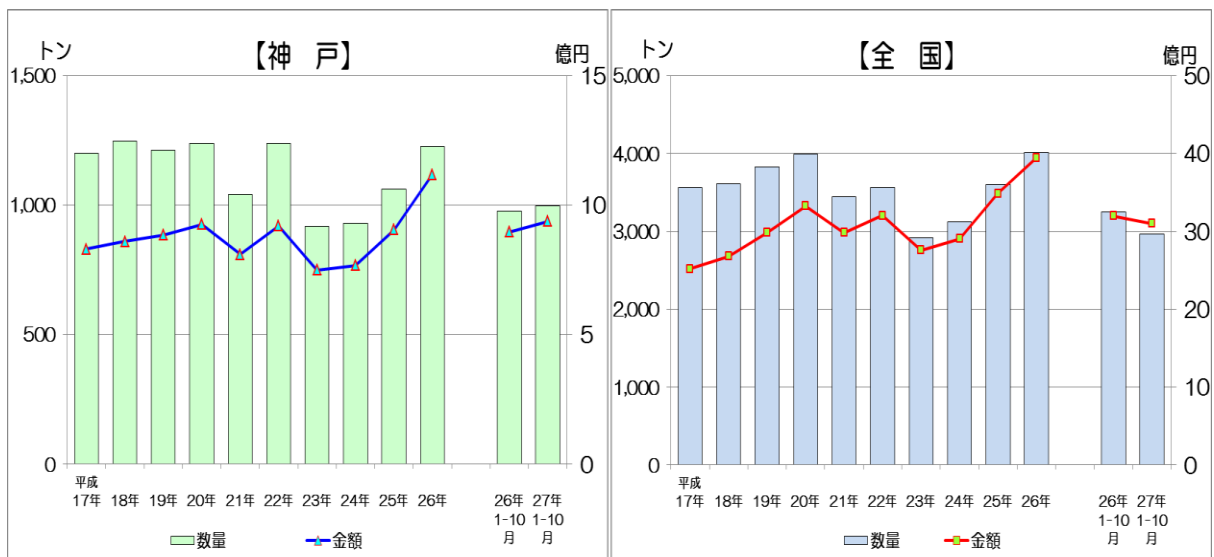


注）本稿の「米菓」は、輸出統計品目番号 1905.90-100 の「米菓（あられ、せんべいその他これらに類する米菓）」を指します。

1. 輸出の動向

平成26年の神戸港は、数量 1,225 トン（前年比 115.4%）、金額 11 億 18 百万円（同 123.4%）で、全国は、数量 4,012 トン（同 111.3%）、金額 39 億 44 百万円（同 113.1%）が輸出されました。

【輸出数量・金額推移】



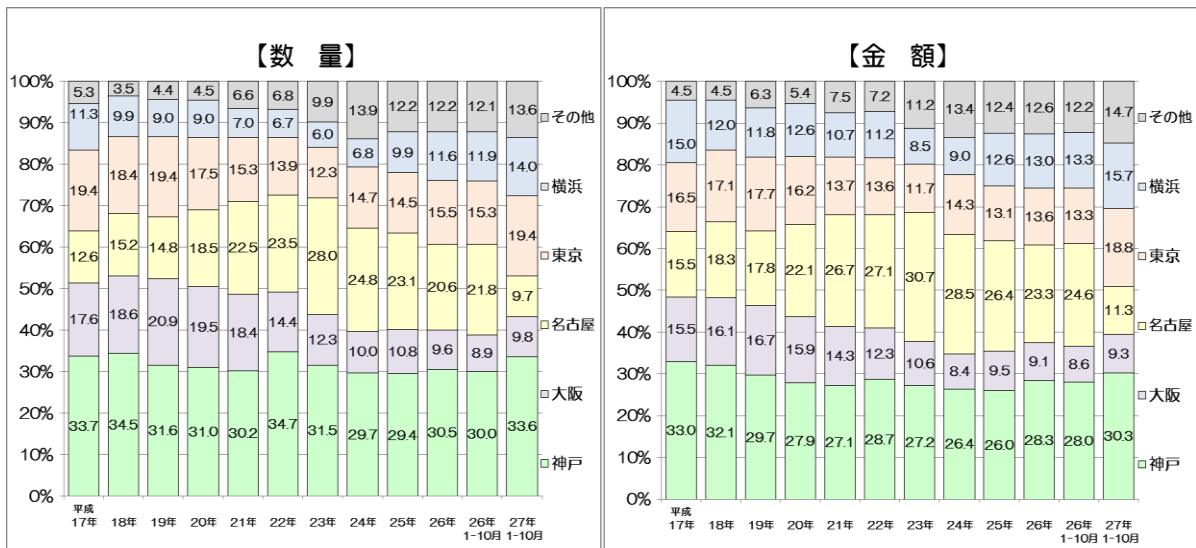
過去10年間の推移を見ると、神戸港・全国とも、リーマン・ショックと東日本大震災の影響によって一時的に減少しましたが、近年は回復傾向を示しています。

平成 26 年の神戸港（金額ベース）は、平成 5 年以来 21 年ぶりに 10 億円を突破し、全国では、過去最高値（平成 4 年の 40 億 87 百万円）に迫る勢いとなっています。

2. 港別の動向

平成 26 年の神戸港の全国シェアは、数量ベースで 30.5%、金額ベースで 28.3%と最も大きなシェアを占めています。

【港別構成比】

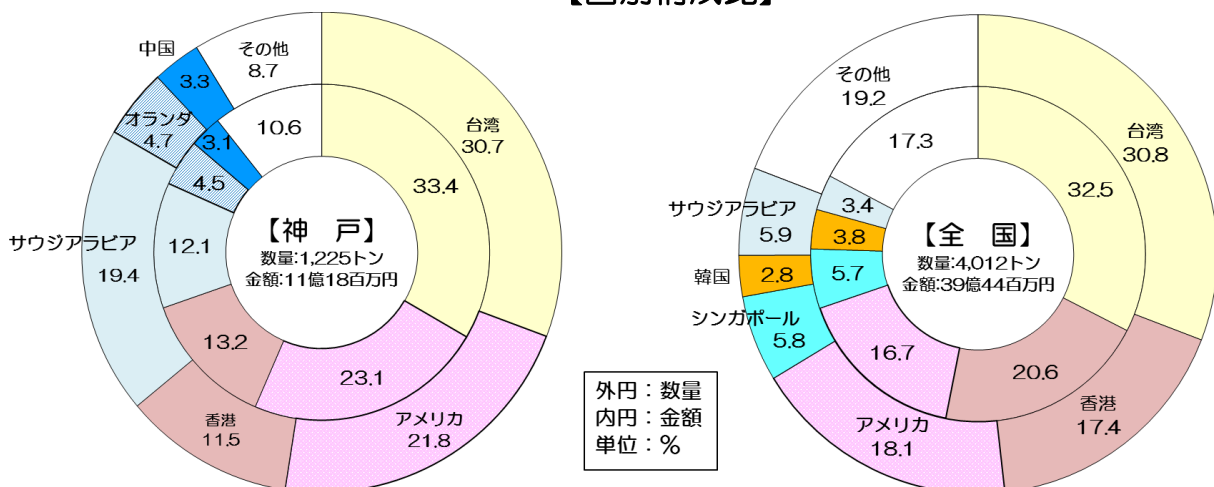


神戸港は以前から近隣に食品関連の商社等が多く、食品工場や倉庫からも近距離にあるなどスピーディかつコスト面でも有利なこと、加えて輸出相手国までの航路が充実していることなどから利用が多くなっています。

3. 輸出相手国・地域の動向

平成 26 年の神戸港の主な輸出相手国・地域は、第 1 位が台湾、第 2 位がアメリカ、第 3 位が香港となっています。全国は、第 1 位が台湾、第 2 位が香港、第 3 位がアメリカとなっています。

【国別構成比】



日本産の米菓は、アジア、北米、ヨーロッパ、大洋州、中東、中南米、ロシア、アフリカなど世界中で愛され、平成 26 年には日本から 45 カ国もの国々へ輸出され、「Japanese rice crackers」として、主に家庭やレストランやバーなどの飲食店で消費されています。

4. おわりに

日本では子供から高齢者まで普通に食べられている“あられ”や“せんべい”ですが、輸出相手先の状況によってはHACCP（ハサップ）方式（※）による製造であることが必要であったり、宗教上特定の食品が使用できなかったり、産地証明を取得する必要があったりなど、現地に届けられるまでにはハードルを越えなければならない場合があります。

輸出される米菓の中には、オーガニック商品があるのですが、子孫にも受け継いでいける安全で優しい食品として、また、有機栽培をしている米作り農家の人々にも、そして地球にも優しい付加価値の高い商品として、海外からの注文に応えた形で商品開発されています。

業界によると、日本産の“あられ”や“せんべい”は、タイ産や中国産の低価格のものとの差別化が確立してきており、現地サイドの規制などがなければ、今後も大きく減少することはなく、横ばいか微増で推移するとみています。



（※） HACCP とは、製品の安全を確保する衛生管理の手法であり、国際的に認められたものです。

食品の製造・加工工程のあらゆる段階で発生するおそれのある微生物汚染等の危害をあらかじめ分析し、その結果に基づいて、製造工程のどの段階でどのような対策を講じればより安全な製品を得ることができるかという重要管理点を定め、これを連続的に監視します。

これによって、より効果的に問題のある製品の出荷を未然に防ぐことができ、原因の追及を容易にすることが可能となります。（出典：厚生労働省HP）

本資料を転載するときは「神戸税関」の資料による旨を注記して下さい。

なお、本資料のお問合せは、

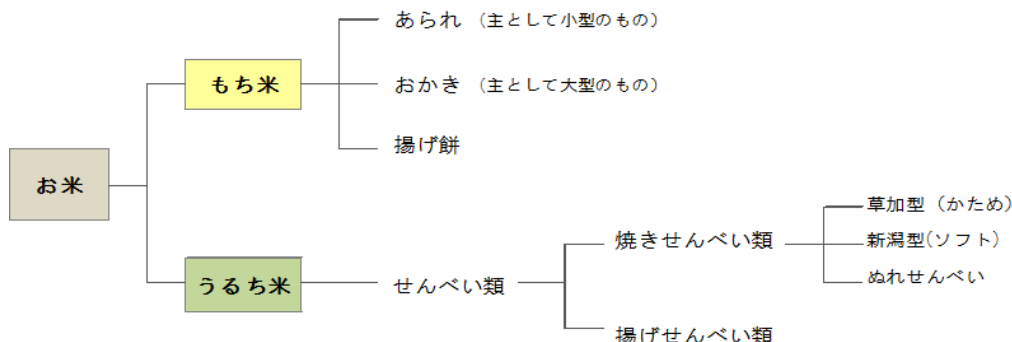
神戸税関調査部調査統計課 TEL (078) 333-3065 まで

「神戸税関ホームページ」のアドレス <http://www.customs.go.jp/kobe/>



??? 米菓の雑学 ???

米菓の分類



〈もち米とうち米の違い〉

	でんぷん割合	特徴
もち米(糯米)	アミロペクチン100%	食感がソフトで口どけが良い
うるち米(粳米)	アミロース20% アミロペクチン80%	食感がかたいものからやわらかいものまで 様々なものがある

アミロペクチンはお餅がよく粘る原因として知られている

ご存知でしたか? PART 1

“サラダあられ・せんべい”の「サラダ」って何だろう。
昭和30~35年頃、サラダ油が高価な商品だった頃、サラダ油を表面に吹き付けて作られたのが始まりです。高級感を醸し出していたそうですよ。

ご存知でしたか? PART 2

植物油と米菓のハーモニー♪ われても末に逢わむとぞ想う..

百人一首にも歌われた崇徳院の「瀬をはやみ」の下の句
「瀬をはやみ 岩にせかるる 滝川の われても末に 逢はむとぞ想う」
川瀬の流れが速いので岩にせきとめられて、ふたつに分かれても、やがてまたひとつの流れになることにたとえて、何時かは添い遂げようと想う強い恋心を詠んでいます。

このような熱き恋心を語るおせんべいをご存じでしょうか。

収穫されたお米は固い殻に包まれた粳(もみ)の状態から粳を剥ぎ玄米となり、これを精米してお米(白米)となります。この精米過程でお米と米ぬかは引き離されます。精米されたお米はせんべい工場へ(お米は粉になり、せんべいになります)、米ぬかはこめ油工場へ(良質のこめ油が作られます)。

この“こめ油”がせんべい工場へ運ばれ、お米と再会します。

“恋焦がれていたもの同士の再会”です。長き別離の旅を経て、美しく成長したふたつの劇的な再会が、香り高き揚げせんべいを生み出します。まさに“われても末に逢わむとぞ想う”ですね。

こめ油と再会を果たしたせんべいですが、このように見ると、これまでとちょっと違って、奥深い食文化を感じますね。

数値表

* 輸出実績推移

年	神戸港							全国					
	数量(トン)			金額(億円)			通関単価 円/KG	数量(トン)		金額(億円)		通関単価 円/KG	
	前年比	全国比		前年比	全国比			前年比		前年比			
平成17年	1,200	116.2%	33.7%	8	116.8%	33.0%	691.5	3,559	106.4%	25	110.9%	707.5	
平成18年	1,246	103.8%	34.5%	9	103.7%	32.1%	690.2	3,614	101.6%	27	106.4%	741.5	
平成19年	1,210	97.1%	31.6%	9	102.9%	29.7%	731.2	3,830	106.0%	30	111.3%	778.3	
平成20年	1,237	102.2%	31.0%	9	104.6%	27.9%	748.2	3,988	104.1%	33	111.5%	833.2	
平成21年	1,042	84.3%	30.2%	8	87.4%	27.1%	776.3	3,447	86.4%	30	89.8%	865.2	
平成22年	1,238	118.8%	34.7%	9	113.7%	28.7%	742.7	3,566	103.4%	32	107.4%	898.8	
平成23年	918	74.1%	31.5%	7	81.5%	27.2%	816.6	2,915	81.8%	28	86.1%	946.4	
平成24年	929	101.2%	29.7%	8	102.2%	26.4%	825.1	3,123	107.1%	29	105.2%	929.4	
平成25年	1,062	114.3%	29.4%	9	118.2%	26.0%	853.2	3,606	115.5%	35	120.2%	967.2	
平成26年	1,225	115.4%	30.5%	11	123.4%	28.3%	912.4	4,012	111.3%	39	113.1%	983.2	
平成26年1-10月	976	112.1%	30.0%	9	120.7%	28.0%	918.2	3,253	110.9%	32	113.7%	983.2	
平成27年1-10月	997	102.1%	33.6%	9	104.6%	30.3%	941.1	2,969	91.3%	31	96.9%	1,044.2	

* 港別輸出実績推移

数量(トン)	全国	神戸		大阪		名古屋		東京		横浜		その他	
		全国比		全国比		全国比		全国比		全国比		全国比	
平成17年	3,559	1,200	33.7%	628	17.6%	450	12.6%	690	19.4%	402	11.3%	190	5.3%
平成18年	3,614	1,246	34.5%	671	18.6%	548	15.2%	665	18.4%	357	9.9%	127	3.5%
平成19年	3,830	1,210	31.6%	799	20.9%	569	14.8%	742	19.4%	344	9.0%	167	4.4%
平成20年	3,988	1,237	31.0%	778	19.5%	738	18.5%	698	17.5%	357	9.0%	180	4.5%
平成21年	3,447	1,042	30.2%	634	18.4%	775	22.5%	527	15.3%	240	7.0%	228	6.6%
平成22年	3,566	1,238	34.7%	513	14.4%	839	23.5%	495	13.9%	239	6.7%	242	6.8%
平成23年	2,915	918	31.5%	359	12.3%	817	28.0%	359	12.3%	174	6.0%	288	9.9%
平成24年	3,123	929	29.7%	313	10.0%	774	24.8%	459	14.7%	213	6.8%	435	13.9%
平成25年	3,606	1,062	29.4%	390	10.8%	835	23.1%	524	14.5%	356	9.9%	440	12.2%
平成26年	4,012	1,225	30.5%	384	9.6%	826	20.6%	623	15.5%	466	11.6%	489	12.2%
平成26年1-10月	3,253	976	30.0%	288	8.9%	709	21.8%	497	15.3%	389	11.9%	394	12.1%
平成27年1-10月	2,969	997	33.6%	289	9.8%	288	9.7%	576	19.4%	416	14.0%	403	13.6%

金額(億円)	全国	神戸		大阪		名古屋		東京		横浜		その他	
		全国比		全国比		全国比		全国比		全国比		全国比	
平成17年	25	8	33.0%	4	15.5%	4	15.5%	4	16.5%	4	15.0%	1	4.5%
平成18年	27	9	32.1%	4	16.1%	5	18.3%	5	17.1%	3	12.0%	1	4.5%
平成19年	30	9	29.7%	5	16.7%	5	17.8%	5	17.7%	4	11.8%	2	6.3%
平成20年	33	9	27.9%	5	15.9%	7	22.1%	5	16.2%	4	12.6%	2	5.4%
平成21年	30	8	27.1%	4	14.3%	8	26.7%	4	13.7%	3	10.7%	2	7.5%
平成22年	32	9	28.7%	4	12.3%	9	27.1%	4	13.6%	4	11.2%	2	7.2%
平成23年	28	7	27.2%	3	10.6%	8	30.7%	3	11.7%	2	8.5%	3	11.2%
平成24年	29	8	26.4%	2	8.4%	8	28.5%	4	14.3%	3	9.0%	4	13.4%
平成25年	35	9	26.0%	3	9.5%	9	26.4%	5	13.1%	4	12.6%	4	12.4%
平成26年	39	11	28.3%	4	9.1%	9	23.3%	5	13.6%	5	13.0%	5	12.6%
平成26年1-10月	32	9	28.0%	3	8.6%	8	24.6%	4	13.3%	4	13.3%	4	12.2%
平成27年1-10月	31	9	30.3%	3	9.3%	4	11.3%	6	18.8%	5	15.7%	5	14.7%

* 国別輸出実績 (平成26年)

国名	数量(トン)			金額(億円)		
	前年比	構成比		前年比	構成比	
全世界	1,225	115.4%	100.0%	11	123.4%	100.0%
台湾	376	162.5%	30.7%	4	185.6%	33.4%
アメリカ合衆国	267	94.7%	21.8%	3	99.9%	23.1%
香港	141	119.9%	11.5%	1	108.0%	13.2%
サウジアラビア	237	105.2%	19.4%	1	104.1%	12.1%
オランダ	57	83.7%	4.7%	1	106.5%	4.5%
中華人民共和国	40	110.3%	3.3%	0	135.3%	3.1%
その他	107	106.0%	8.7%	1	110.9%	10.6%

国名	数量(トン)			金額(億円)		
	前年比	構成比		前年比	構成比	
全世界	4,012	111.3%	100.0%	39	113.1%	100.0%
台湾	1,237	125.5%	30.8%	13	126.2%	32.5%
香港	698	105.2%	17.4%	8	107.8%	20.6%
アメリカ合衆国	727	99.9%	18.1%	7	102.9%	16.7%
シンガポール	233	109.5%	5.8%	2	102.9%	5.7%
大韓民国	111	118.4%	2.8%	1	117.9%	3.8%
サウジアラビア	237	105.2%	5.9%	1	104.1%	3.4%
その他	769	110.3%	19.2%	7	113.2%	17.3%